

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 老花家作成日: 平成 31 年 3 月 27 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	利用者は隣接する法人の事業所の行事に参加して、利用者同士の交流はあるが、地域との交流が出来ていないので、運営推進会議を通じて情報を得て地域の行事や活動に参加したり、ホームの行事に地域の方の参加を得て交流の輪を広げていく。	小学生や中学生の体験学習やボランティアを積極的に受け入れ、地域住民や利用者家族がホームに来所しやすい環境を作り、地域の高齢者や認知症の方の介護相談を行う等、地域から頼られるグループホームを目指していく	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員を中心とした勤務体制で利用者や家族との関係は良好で、信頼度は高いが、これからのグループホーム経営が安定するためにも若手の職員を確保し、職員の介護知識や技術の向上に取り組み、安定した質の高い介護サービスの提供を目指していく。	職員の経験や習熟度に合わせて、外部の研修を交代で受講してもらい、職員の介護技術の向上と意識の高揚に取り組み、利用者や家族が満足できるサービス提供を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。